

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	平成29年度 第1回河内長野市生活安全推進協議会
2 開催日時	平成29年5月30日(火) 午前10時から
3 開催場所	市役所3階 301会議室
4 会議の概要	① 平成29年度生活安全関連の取組について ② 河内長野市の犯罪発生状況について ③ 通学路の安全対策について ④ 第12回安全・安心まちづくり市民大会について ⑤ その他
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	0人
7 問い合わせ先	(担当課名) 危機管理課 (内線 775)
8 その他	

* 同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

平成29年度 第1回河内長野市生活安全推進協議会 議事録

日 時 平成29年5月30日(火)
午前10時から午前11時30分
場 所 河内長野市役所 301会議室

1. 開 会

2. 市長挨拶

河内長野市の刑法犯罪認知件数について、大阪府下33市の中で3番目に少ない市である。関係団体の取り組みの賜物でお礼を申し上げる。今後も大阪府下で1番犯罪の少ない市を目指したいと思うので、協力をお願いしたい。

3. 委嘱状交付

- ・河内長野警察署長 磯野 貴章 氏
- ・河内長野市危機管理監 星野 正明 氏

任期は前任者の残任期間、河内長野署長については前任者の澤野副会長の後任として副会長の職を継承する。→承認される

4. 案 件

①平成29年度生活安全関連の取組

事務局から資料に基づき説明

- ・防犯、防災、防火、交通安全、青少年育成、福祉、人権、消費生活の分野ごとに、平成29年度に各関係課・団体が実施する生活安全関連の主要施策について、目的や事業内容を説明。

→質疑応答

(委員) 助成金について、市の財政難について理解しているが、一律に予算削減するのではなく担当者からヒアリングするなどして、内容を見て予算措置してもらいたい。実態を把握してもらい優劣をつけてもらっても結構だが、一律に下げられるのであればどの事業も出来なくなるので、市に業務を返上しないといけなくなる

(事務局) 一律に削減するのではなく、事業の必要性の有無も含めて検討する必要があることを認識している。そのためにも皆さんとざっくばらんにお話をさせていただきたいと思っている。

(委員) 市が財政難の中、私たちの会では助成金に頼るのではなく自主財源(会費)の確保をしている。消滅可能都市に挙げられているなか、次の世代にバトンタッチするためにも各団体が自主財源の確保も考えていかないといけない。

(事務局) 補助金や助成について社会の変化にあわせて見直しをし、減らすものは減ら

し、増額が必要なものや新規で対応が必要なものについては、財政措置を行っていき
たい。

②河内長野市の犯罪発生状況

刑法犯の認知件数等について 河内長野警察署 生活安全課 清水課長より

今年に入ってから犯罪発生状況について、今年の1月～4月と前年の同期間の犯罪発生状況を比較したところ、前年比で－68件となっておりますが、これはあくまで認知件数である。大阪府警で重点犯罪としている性犯罪・ひったくり・自動車関連犯罪・特殊詐欺であります。このうち、自動車関連犯罪について件数が多いように思われますが、車上狙い21件については、大部分がガラスが割られたりということではなく、戸建て住宅の駐車場に無施錠のまま駐車されている車が狙われていることが多く、河内長野は安全だからと思わず自宅の駐車場でも施錠をお願いしたい。部品ねらいにつきましては、原動機付き自転車のナンバープレートやミラーなどの部品が盗まれているケースで、防犯カメラが少ないということもあり件数を押し上げている状況である。

特殊詐欺につきましては3件で昨年より5件減っているがこれもあくまで認知件数であり、大阪府下では増加している。昨年の大阪府下での被害は、1,633件発生し、前年より463件増加し過去最高になった。被害金額については、約52億6,000万円で前年より約10億8,500万円の増額となっている。河内長野では今年になって減っているが大阪府下では危機的状況になっている。河内長野については、昨年が24件約4,000万円の被害であった。今年1月から4月については3件で昨年同時期から5件減っている。3件の内訳については、還付金詐欺が2件、架空請求が1件発生し、約234万円の被害が出ている。今後もライフスタイルが変化し高齢者が対象となるような犯罪が増加することが見込まれる。今後も安全で安心して暮らしていける河内長野を継続していくために今後も協力していきたいと思っております。

(教育委員会)

長野警察の方から刑法犯について説明があったが、小中学生の状況について資料で説明する。

ここ10年くらいを見ると対教師暴力・喫煙・窃盗全て減っているこれまでは6年から7年で増えたり減ったりしてきたが、このところはずっと減ってきている。これは、地域の方が学校に入って来てもらって、子どもと学校、地域に係ることで出てきた成果である。地域の方に感謝している。不登校についても全国では増えているが、河内長野市は減ってきている。これも学校で先生だけが係るのではなく、いろんな価値観をもった地域の方が係ってもらい育ちを保証してくれていることでこうなっていると考えます。43市町村の内42市町村は学校は学校だけの責任としてるが、河内長野ではコミュニティスクールを始め、地域の方が地域の責任として子どもたちを育ててもらっていることが減少している要因となっている。しかし、これが始まるまでの子どもについては、これまでどおり、対応が必要である。高校生や大学生が地域に係れるような仕組みが必要であると考え、地域に参画できる仕組みを進めている。いろんな方に協力いただいていることに感謝している。

③通学路の安全対策について 教育総務課 山崎課長補佐より

「通学路交通安全プログラム」策定後、本年5月で2年が経過し、本プログラムにおいて通学路の安全対策箇所を指定し対策を行ってきた。平成27年度に三日市小学校区2箇所、平成28年度に長野小学校区1箇所で安全対策を完了した。また、富田林土木事務所と協議し、新たに長野小学校区2箇所について安全対策箇所を追加した。未対策箇所としては、楠小学校区1箇所（松ヶ丘東町滝谷踏切）が富田林土木事務所と南海電鉄が協議中、長野小学校区2箇所については本町国道310号線と西之山町の外環状線でどちらも夜間の視認性についての対策で、今後富田林土木事務所の方で歩道の照明灯設置の必要性について調査を実施するとのことである。今後も関係機関と協議を行い対策を進めていきたい。

また、プログラムとは別に学校の安全活動として安全指導や情報交換など行ってもらっているなかで、行政として対応が必要な箇所については学校長を窓口に対応を進めていきます。今後の進捗につきましても本会議でも報告します。

（委員）しつとう屋付近の歩道のない危険箇所について、昨年度グレーチングを設置すると聞いていたが、まだ設置されていないがどうか

（道路課）まだ対応できておりません。今年度設置させていただきます。

前回回答→質疑応答

（委員）グリーンベルトの幅は何メートルくらい？

（高橋主幹）グリーンベルトの幅についての規定はないため、関係機関の判断及び現場の状況によって適宜決定し、実行している。

（委員）以前から議員へ要望している件について、しつとう屋から三日市小学校にかけて、側溝にグレーチングを設置し、歩行者の安全対策措置を行うよう要望しているが、その進捗状況についてはどうなっている？

（高橋主幹）ご要望いただいている件の進展状況について、後日担当者よりご回答させていただきます。

④第12回安全・安心まちづくり市民大会について 人権協議会事務局 北畑氏

・開催日時 平成29年12月10日（日） 午前10時～12時

・場所 市民交流センター（キックス）4階イベントホール

・主催 河内長野市生活安全推進協議会

資料内容を説明

→特に質疑はなく、了承された。

⑤その他

→次回から会議資料を事前に欲しい。事前に目を通しておくことで活発な意見交換ができるのではないか

次回から事前に届けます。

以上